

## ■ 現役生に自身の体験談を披露 進路講演会「卒業生に聞く」



2022(令和4)年11月24日(木)に1年生に対しての進路講演会「卒業生に聞く」が開かれました。

この講座は東住吉高校と緑友会の協力企画として、卒業生が自身の体験を披露することで、進路の一助としてもらうものです。

今回は、システムエンジニアの松田 浩延氏(普通科31期生)、地方公務員の間嶋 淳氏(普通科30期生)、



演出家・タレントの静 恵一氏(芸能文化科6期生)の3氏が、1時間で3名に発表してもらうというタイトなスケジュール

での依頼に快く応じていただきました。

当日、体育館での講演では、3名3様の経歴と今の職に就いた経緯などを語っていただきました。現役生はそれぞれの講師の話真剣な面持ちで聞いていました。

講演後、お三方に感想を聞きました。「10分程度の講演については負担ではなかった」との感想でしたが、「生徒にとっては面白みに欠けたかもしれない。」「生徒に固さを感じた。」「質問の時間があつた方がよかったかもしれない。」と一様に生徒の反応を気にしておられました。一方で「(生徒達が)思いのほか真剣に聞いてくれた。」と好印象をお持ちでした。

また、「東住吉高校の生徒は昔か

ら雰囲気が変わっていない」との声も出ました。「難しいかもしれないが、一番現場で活動していて、年齢的に近い40歳代や30歳代の卒業生の話を聞く機会があればよいと思う」との提案もありました。

緑友会では、引き続き職業講座の講師を募集しています。現役生へあなたの仕事をご紹介ください。お申し込みは緑友会事務局にお願いします。緑友会では、この他にも生徒会への支援や全国大会出場クラブへの奨励金贈呈など色々な形で現役生の支援を行っています。



会場の様子



(講師) 松田 浩延氏



(講師) 間嶋 淳氏



(講師) 静 恵一氏



校内(御堂筋) 散策



緑友会事務所にて

## ■ 今年もホームカミングデーに多くの同窓生が参集しました

2022(令和4)年11月12日(土)に東住吉高校ではチャリティ100キロリレーマラソンが開催されました。

緑友会ではこの日をホームカミングデーと設定し、マラソンの参加者を応援するエイドステーションを運営しています。



スタートの瞬間

今年も、朝から10名を超える同窓生が集合して、参

加者に配るお茶、焼きそば、おにぎり、お菓子の詰め合わせ袋を作成しました。

正午にスタートした現役生はゴールするとエイドステーションに向かい、あつという間に配り終え、2時すぎには売り切れ後免となる好評ぶりでした。参加した同窓生は、現役生とのふれあいを通じて若さや元気をもらいながら、緑友会のアピールをしていました。



詰め合わせ



エイドステーションに駆けつける在校生



動線も考え、入念な準備



お手伝いされた卒業生